

## 協力伝道週間「祈りの暦」 2018.1/28 日～2/4 日

### ■1月28日(日)：被災地支援、国内伝道

①諸教会・伝道所が“ともにこころを合せて”東日本大震災支援活動ができるように、仮設住宅に暮らす方々、そこを退去された方々、それぞれが向き合っている課題に寄り添うことができるように、放射能汚染による健康被害を憂慮する福島の方々が癒され希望をもって生活できるように。②熊本地震、九州北部豪雨などの災害支援活動する教会の働きが守られますように。③全国支援・地域協働プロジェクトを覚えて。④伝道プログラム支援ほか各種支援制度を通して、教会活動が豊かに進められるように。⑤「協力伝道会議」の整えが守られ、各地での会議が豊かに進められるように。

### ■1月29日(月)：国外伝道・国際協力

①野口日字満・野口佳奈両宣教師(インドネシア)の働きとご家族を覚えて。②嶋田和幸・嶋田薫両宣教師(カンボジア)の働きとご家族を覚えて。③IMV佐々木和之氏の働きとご家族を覚えて。④AMC伊藤世里江氏の働きとIJSとの協働を覚えて。⑤日本バプテスト女性連合の働きと世界バプテスト祈待週間献金(目標額4,500万円)を覚えて。⑥BWA、APBFとの連携。BWAid、APBAidを通じての支援。CBFとの協力。

### ■1月30日(火)：青少年伝道、教会教育、教会音楽

①全国少年少女大会、伴走ひろば、全国小羊会キャンプ・リーダー研修会に参加者を送ろう。②聖書から聴く神さまの物語を、教会学校で共に喜んで味わおう。『聖書教育』がよく用いられるように。③教会音楽が、諸教会の教会形成・信徒訓練の働きに資するように。『新生讃美歌』が礼拝で活用され、礼拝が豊かにされるように。奏楽奉仕者育成プログラム、礼拝研修、「賛美のこぼれ」に関する働きのために。

### ■1月31日(水)：宣教研究所

①基礎研究や宣教論などの「研究」、さまざまな形式の牧師・教会のための「研修」、時代を的確に読み取るための「情報発信」など、バランスのとれた働きを通して諸教会・伝道所に仕えていけるように。②宣教研究所運営委員会、宣教研究所のスタッフの働きのために。③新任牧師・主事研修会、「式文」を用いた教会形成に関する研修会の実施のために。

### ■2月1日(木)：伝道者養成・神学校

①献身者が多く起こされるように。②西南学院大学神学部・同大学院神学研究科、東京、九州両バプテスト神学校のために。③全国壮年会連合・奨学金委員会の働きと神学生奨学金献金(神学校献金)目標額3,000万円が満たされるように。

### ■2月2日(金)：理事会、監事、各委員会、直属事業体

①理事会、監事、特別委員会(靖国神社問題、公害問題、日韓・在日、部落問題、ホームレス支援、性差別問題、「障害」者と教会、財務、回転資金、神学教育、資料保存、セクシュアル・ハラスメント防止相談)、臨時委員会(平和宣言推進、憲法アクション、東日本大震災被災地支援、現地支援)の働きを覚えて。②天城山荘の働きと経営を覚えて。

### ■2月3日(土)：協力伝道献金、教役者退職金

①「祈りと励ましの標準比率」(2013年第59回定期総会改定)を大切に、協力伝道の働きに祈りを合わせるように。諸教会のステewardシップが豊かにされるように。②教役者退職金制度の財源が満たされ、諸教会の厚生年金移行が進められるように。

### ■2月4日(日)：諸教会・伝道所、連盟事務所

①諸教会・伝道所、関係団体が「祈り」によって結ばれ、それぞれの働きが、豊かに祝されるように。②各教会の教役者の働きと健康と生活が守られますように。③無牧師の教会・伝道所を覚えて。④連盟事務所の働きを覚えて。

※【国外伝道・国際協力】略称説明：IMV=国際ミッション・ボランティア、AMC=アジア・ミッションコーディネーター、IJS=シンガポール国際日本語教会、BWA=世界バプテスト連盟、APBF=アジア太平洋バプテスト連合、CBF=コーポラティブ・バプテスト・フェローシップ

